

1. 景観計画の区域

本市には、人々の暮らしとともに育まれてきた多様な景観が市全域に分布しています。その一方で、これらの景観の保全と形成上の課題も市全域に及んでいます。

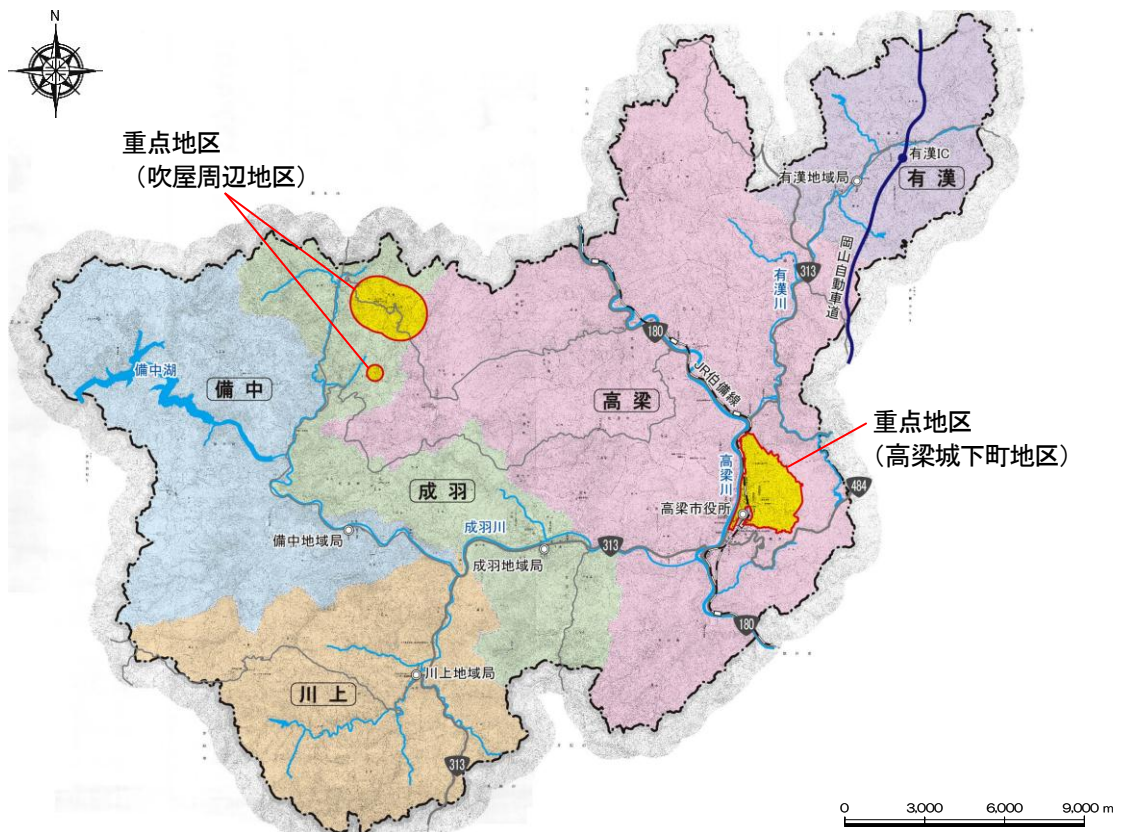
そのため、地域毎の景観特性や課題を踏まえ、景観法の各種制度を活用した実行力のある景観まちづくりに向け、市全域を景観計画区域と定めます。

さらに、景観まちづくりに取り組んでいくためには、景観を市全域で捉える視点、地域毎に捉える視点、景観上重要な地区を捉える視点が必要です。

ここで、地域は、景観特性、歴史的な発展過程、地域コミュニティ、学校区、景観施策を推進するための行政区を総合的に勘案し、「高梁」、「有漢」、「成羽」、「川上」、「備中」の5地域とします。

また、本市を代表する景観や眺望を有し、その保全の必要性や緊急性が高く、これまでも景観形成の取り組みがなされ、今後も重点的に良好な景観形成を図る必要のある「高梁城下町地区」と「吹屋周辺地区」を重点地区とします。

市全域を景観計画区域と定め、市全域の方針、地域別の方針（高梁、有漢、成羽、川上、備中）と重点地区の方針（高梁城下町地区、吹屋周辺地区）を示します。



景観計画区域（市全域）

2. 景観まちづくりの基本目標

景観は、そのまちを視覚的・感覚的に印象づける上で重要な要素です。これまで本市が行ってきた景観への取り組みを踏まえて、市民、事業者、市民団体・NPO 法人、行政が協働し、景観まちづくりの目標を共有し、効率的・効果的な展開を図ることが重要となります。

ここでは、景観まちづくりに関する市全域における共通の基本目標を掲げ、本市の良好な景観の姿を明確にします。

高梁市新総合計画の都市像を踏まえ、景観まちづくりの基本目標を次のとおりとします。

高梁市新総合計画の都市像

ひと・まち・自然にやさしい高梁

景観まちづくりの基本目標

備中高梁の風情を活かす景観まちづくり

この基本目標を、市民、事業者、市民団体・NPO法人、行政が共有し、市民誰もが地域の個性や固有の景観の価値に気づき、誇りに感じることで、景観を通じたまちづくりへの参加意識を高め、活力に満ちたまちづくりの展開をめざします。

3. 景観まちづくりの基本方針

景観まちづくりの基本目標の実現に向け、良好な景観形成に関する方針として、「自然の景観」、「歴史・文化の景観」、「暮らしの景観」の3つの基本方針を掲げ、地域別景観まちづくりの展開を図ります。

基本目標

備中高梁の風情を活かす景観まちづくり

基本方針

自然の景観

豊かな自然を守り育て
活かす景観まちづくり

歴史・文化の景観

歴史・文化を守り育て、次世代へ継承する景観まちづくり

暮らしの景観

誇りと愛着をもって暮らせる景観まちづくり

第3章 地域別景観まちづくりの展開

地域別景観まちづくりの方針

- 高梁地域 高梁川の流れと歴史を活かした景観まちづくり
- 有漢地域 石の文化と自然を活かした景観まちづくり
- 成羽地域 備中神楽と陣屋町の歴史を活かした景観まちづくり
- 川上地域 弥高山の自然と地域文化を活かした景観まちづくり
- 備中地域 四季を彩る備中湖と農村風景を活かした景観まちづくり

重点地区景観まちづくりの方針

高梁城下町地区

城下町のたたずまいを感じる景観まちづくり

- ・自然緑地景観形成ゾーン
- ・歴史的町並み景観形成ゾーン
- ・駅周辺景観形成ゾーン

吹屋周辺地区

緑に映えるベンガラの町並みを活かした景観まちづくり

3-1. 自然の景観

◆豊かな自然を守り育て、活かす景観まちづくり

吉備高原の山々を基調に、山地に深い谷を刻みながら流れる高梁川や成羽川などの豊かな自然は、市民の暮らしに潤いを与えています。これらの豊かな自然景観を保全し、身近に感じられる景観まちづくりをめざします。

方針1 吉備高原の山並みの保全と活用

- ・地域景観の基調であるとともに、市街地や景勝地などの背景となる吉備高原の山々は、豊かな緑と四季が感じられるよう保全に努めます。
- ・弥高山公園、高梁美しい森、高梁自然公園などの緑とふれあえる場を守り育て、自然景観を楽しむ場として保全と活用を図ります。
- ・山間部を通る道路の法面や構造物の整備は、交通機能、防災機能を確保しながら、自然景観との調和に配慮します。

方針2 河川や溪谷の保全と活用

- ・高梁川とその支流の成羽川や有漢川は、防災機能と水利を保持しつつ親水性を高め、水質や水生動植物の保全、川辺の草刈り、清掃活動を通じて水辺の景観づくりに努めます。
- ・成羽川などが吉備高原に深い谷を刻んでできた用瀬嶽^{ようぜだけ}、磐窟谷、羽山溪などの景勝地の自然景観を守り育て、地域の活性化につながる景観づくりをめざします。
- ・福地川^{しるちがわ}、佐伏川^{さぶしがわ}、領家川^{りょうけがわ}、長谷川^{ながたにがわ}などは自然環境の保全に努め、ホタルを育てる地域活動を維持し、地域の活性化につなげていく景観づくりをめざします。

方針3 吉備高原の山々や高梁川、成羽川の眺望景観の保全と活用

- ・JR 伯備線、国道 180 号、国道 313 号からは山々と高梁川、成羽川が織りなすダイナミックな自然景観を見ることができます。交通機能や防災機能を確保しながら鉄道や道路からの眺望景観を守り育て、活かす取り組みを検討します。
- ・城見展望台、霧の海展望の丘、大平山^{めおといわ}、夫婦岩、弥高山などは、眺望の確保に配慮した適切な管理に努め、地域を代表する眺望地として活用を図ります。

3-2. 歴史・文化の景観

◆歴史・文化を守り育て、次世代へ継承する景観まちづくり

歴史的な建造物や町並み、備中神楽や渡り拍子などの民俗芸能を守り育てながら、市民が身近な景観に魅力と愛着を感じ、地域の活性化につなげ、次世代へ継承していく景観まちづくりをめざします。

方針1 歴史的な町並みの保全と活用

- ・武家屋敷や商家の町並み、紺屋川美観地区、神社仏閣などの「高梁城下町の歴史的な町並み景観」、銅山とベンガラ生産とともに発展してきた歴史を今に残す「吹屋の町並みとその周辺の歴史・文化の景観」は、継続的な保全と活用を図ります。
- ・歴史的な町並みに配慮した道路舗装の整備、無電柱化、案内サインの統一、町名や小路、歴史的建造物の説明板などのハード整備を進めます。また、歴史性を活かしたイベント開催などのソフト事業の展開により、地域の活性化につながる景観づくりをめざします。
- ・歴史的な町並みの景観を守りつつ、都市計画施策との連携を図り、道路や公園、下水道などの社会資本整備を整え、居住環境の向上に努めます。

方針2 多様な歴史・文化遺産の保全と活用

- ・市民が地域の歴史や文化を学び、次世代へ伝えていくための研修会、勉強会などへの参加を通じて、ふるさと高梁への愛着と誇りを醸成し、身近な景観の重要性を共有できる景観づくりをめざします。
- ・高梁城下町地区、吹屋周辺地区を核とし、地域の多様な歴史・文化的遺産を結び、高梁川や成羽川などの河川景観、里山と棚田などの農山村景観を活かした広域的な地域活性化へつながる景観づくりをめざします。

方針3 地域の祭事や民俗芸能などの継承と振興

- ・松山踊りは、本市を代表する江戸時代から続く盆踊りであり、駅前大通りのやぐらを中心に踊る姿は夏の風物詩となっており、その継承と振興を図ります。
- ・備中神楽や渡り拍子などの民俗芸能、地域の祭事は、本市の重要な歴史・文化資産となっています。広く市民がその価値を共有し、地域の活性化につなげ、次世代へ継承していくことをめざします。

3-3. 暮らしの景観

◆誇りと愛着をもって暮らせる景観まちづくり

落ち着ついた住宅地景観、にぎわいを感じる商業地景観、活力を感じる工業地景観、自然豊かな農山村の景観など、地域の良好な景観形成に向けて住民が考え、その質を向上させながら、誇りと愛着をもって暮らせる景観まちづくりをめざします。

方針1 市街地美化の促進と活用

- ・花いっぱい運動や清掃活動の促進、町内会や集落単位でのルールづくりなど、景観づくりの取り組みを市民、事業者、市民団体・NPO 法人と行政が連携して進めます。
- ・新たな商業施設や工場、住宅地の開発にあたっては、周辺の町並み景観や自然景観との調和に配慮するなどの良好な景観の誘導を図ります。
- ・地域の良好な景観形成に先導的な役割を果たす公共施設は、関係機関と連携して整備を進めます。

方針2 にぎわいや地域の活性化につながる景観づくりの促進

- ・備中高梁駅西側の駅前大通り、城見通りは、歴史的な町並みへつなぐ玄関口として、にぎわいの中にも落ち着きを感じられる魅力ある沿道の景観づくりに努めます。また、備中高梁駅東側では道路整備が進められ、新たなまちなか生活エリアとして、潤いとゆとりのある沿道の景観形成に努めます。
- ・地域の暮らしを支える商店街は、住民や商店主、来訪者などの多様な視点から既存建築物を活かした町並みの形成と地域の活性化につながる景観づくりをめざします。
- ・幹線道路沿道は、緑化や花植え、屋外広告物の景観誘導を図り、周囲の自然や町並みと調和した魅力的な沿道景観の形成をめざします。
- ・多彩な祭りやイベントなどの継続的な開催や市内外への情報発信により、地域住民と来訪者との交流を図り、にぎわいや地域の活性化につながる景観づくりをめざします。

方針3 農山村の景観づくりの促進と活用

- ・良好な里山の景観、農地と農山村の景観を守り育てていくために、農林業施策と連携して美しい農山村の景観づくりを進めます。また、休耕地や耕作放棄地への菜の花やひまわりなどの栽培促進や地域住民の景観活動の支援などを通じて、地域の活性化につながる農山村の景観づくりをめざします。